

都市再生整備計画

しんじょうし 新庄市 しゅうへん エコロジーガーデン周辺地区(第1回変更)

やまがた 山形県 しんじょう 新庄市

令和5年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	山形県	市町村名	新庄市	地区名	新庄市エコロジーガーデン周辺地区	面積	33	ha
計画期間	令和5年度	～	令和9年度	交付期間	令和5年度	～	令和9年度	

<p>目標</p> <p>大目標：歴史的資源と周辺の景観を生かした魅力ある地域づくり</p> <p>目標1：魅力ある滞在空間と観光交流の拠点づくり</p> <p>目標2：地域資源の活用による賑わいの創出</p> <p>目標3：景観の保全と環境整備による歩きたくするエリアの創出</p>
<p>目標設定の根拠</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>●新庄市の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 山形県内陸北東部の新庄盆地のほぼ中央に位置し、最上地域8市町村(1市4町3村)の中心市である。 人口は、平成27年(2015)の国勢調査の時点で36,894人となり、平成2年(1990)以降、減少傾向にある。老年人口割合は30.0%で、令和22年(2040)には40%を超えると推計されている。 交通については、明治36年(1903)に奥羽本線が開通し新庄駅が開業。以降、大正3年(1914)に陸羽西線、大正6年(1917)に陸羽東線が開通し、日本海と太平洋を結ぶ鉄路が敷かれたことにより、新庄駅で鉄路が交差した。また、国道13号と国道47号も交差していることから、「東北の十字路口」として交通の要衝となっている。 <p>●新庄市エコロジーガーデン周辺地区の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市は元和8年(1622)に戸沢政盛公によって開かれた新庄藩の城下町であり、城下町整備にあたって、羽州街道の北の入口である当地区に多くの寺院が配置され、新庄藩主戸沢家墓所(史跡)が置かれている。 近代では、昭和8年(1933)に全国で10番目の国営蚕糸試験場が誘致され、昭和12年(1937)には市立北辰小学校が開校した。蚕糸増産の研究をはじめとした地域の農業振興の拠点として地域住民に親しまれてきた蚕糸試験場は、平成13年(2001)の事業終了とともに移管され、新庄市エコロジーガーデンとして整備された。 エコロジーガーデン施設内に平成14年に設置された産直施設「まゆの郷」は、しんじょう産地直売所運営協議会(農家会員120名)によって運営され、新鮮な野菜や加工品の販売、定期的なイベントの開催などにより、エコロジーガーデンを代表する施設となっている。 エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト実行委員会が、平成24年から、毎月(5月から11月)第3日曜日に「kitokitoMARCHE」を開催し、県内外から多くの人が訪れるイベントとなっている。民間団体が中心となったその取り組みが評価され、平成25年11月に「地域づくりのやまがた景観賞(山形経済同友会賞)」を、平成29年3月に「国土交通大臣表彰(手づくり郷土賞)」を受賞した。 新庄市エコロジーガーデン敷地内の歴史的建造物群は、平成25年(2013)に国の登録有形文化財(建造物)に登録された。 文化庁の補助を受けて旧蚕糸試験場の蚕室の保存活用改修を行うにあたって、サウンディングを行いながら民間事業者による活用の可能性を調査した。現在はカフェや貸しオフィスなどとして多様な形で活用されている。 新庄市エコロジーガーデンの既存施設を「地域連携施設」とする国との一体型「道の駅」整備が令和4年度に採択され、駐車場や休憩施設を整備する予定である。既存施設である産直施設や飲食スペース、交流施設等の更なる利用拡大を図るとともに、周辺の施設との連携によって機能の強化を図ることで、全国的にも珍しい登録有形文化財を活用した「道の駅」として整備を目指している。 <p>課題</p> <p>●観光交流拠点施設の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録有形文化財である旧蚕糸試験場の魅力を最大限に生かし、世代を超えた市民活動による保存・利活用と地域活性化に向けた観光交流拠点施設として、更なる機能の充実が求められている。 国道13号に隣接する立地を生かし、道路利用者のための休憩施設や駐車場、地域振興のための情報発信施設などの一体的な整備が求められている。 <p>●エコロジーガーデン周辺施設との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史的資源である新庄藩主戸沢家墓所などへ誘導する環境整備や、地域住民の憩いの場となる旧北辰小学校跡地の整備などを行うことで、エリアの魅力と周遊性の向上が求められている。 <p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>①第5次新庄市総合計画(2021-2030)(令和2年度策定)</p> <p>まちづくりの柱4(産業)「観光の振興」<10年後の目指すべき状態：地域資源の魅力が伝わり、観光交流が図られている></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活かした観光コンテンツの充実 観光客の受入体制強化 広域的な交流と地域連携の促進 <p>②新庄市都市計画マスタープラン(2020-2040)(令和2年度策定)</p> <p>○都市環境・その他の整備方針</p> <p>【観光・交流(拠点形成)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「旧農林省蚕糸試験場新庄支場保存活用計画」及び「第4期新庄市エコロジーガーデン利用計画」に基づき、耐震改修や文化財の保存・利活用を図る。 道の駅を含めた、観光地の駐車場やトイレ、視点場などの拠点整備については、需要を適切に見極めたうえで、庁内横断的な体制のもと、補助事業等を活用した整備検討を行う。 <p>【観光・交流(交流促進)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 統廃合後の小中学校の跡地等の遊休資産・点在する空き家・空き地等を活用した地域コミュニティの場や高齢者等の「通いの場」の整備について、担い手の確保も含めた検討を進める。

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【魅力ある滞在空間と観光交流拠点の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光交流拠点としての道の駅駐車場整備 ・子ども連れや高齢者、障がい者に配慮した屋外トイレの整備 ・市内の観光情報発信拠点としての機能充実 ・大型バス等での来場に対応した市道の拡張整備 ・環境に配慮したEVステーションの整備 	<p>【基幹事業】(高次都市施設 観光交流センター) 休憩・情報発信施設、駐車場、広場・園路整備 【基幹事業】(道路) 北辰学校前線拡張整備 【基幹事業】(地域生活基盤施設)EVステーション 【提案事業】(地域創造支援事業)道の駅利活用促進事業</p>
<p>【地域の歴史的資源の活用による賑わいの創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庄藩主戸沢家墓所周辺への駐車場整備 ・旧北辰小学校跡地を活用した地域交流広場の整備 	<p>【基幹事業】(地域生活基盤施設)共用駐車場整備 【基幹事業】(地域生活基盤施設)地域交流広場整備 【提案事業】(地域創造支援事業)地域交流広場便所整備</p>
<p>【景観の保全と整備による歩きたくなる空間の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧蚕糸試験場内の無電柱化 ・旧蚕糸試験場内の遊歩道整備 	<p>【基幹事業】(高質空間形成施設)旧蚕糸試験場構内無電柱化 【基幹事業】(高次都市施設 観光交流センター)広場・園路整備</p>
<p>その他</p>	
<p>【その他官民協働の取り組み事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコロジーガーデン交流拡大プロジェクト実行委員会の設立(平成24年) ・しんじょう産地直売所運営協議会による産地直売所「まゆの郷」の運営(平成14年～) <p>【都市のコンパクト化の方針】</p> <p>新庄市都市計画マスタープランにおいて、「新しい時代の要請に対応するコンパクトな都市づくり」を基本理念として、本市における各地域ごとの位置づけや役割、方針を設定している。地域ごとの取組みを推進することにより、各地域の役割が有機的に繋がりがり全体として都市のコンパクト化を推進するものである。</p> <p>当該地域については、次の地域づくりの方針を設定している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安全で安心して暮らし続けられるような生活環境の維持・向上と、観光交流の活性化を推進します。 ・中央部地域との連絡・連携を強化することで、日常における質の高い生活サービスを楽しめる環境整備を図ります。 ・市内外の広域的な観光ルートの確立などの観光・交流ネットワークを形成します。 ・史跡等の歴史や自然等を活用した観光資源について積極的に保全し、自然豊かな環境の維持・向上を推進します。 	

新庄市エコロジーガーデン周辺地区(山形県新庄市)

面積

33

ha

区域

新庄市十日町字太田・字トウメキ・字上トウメキ・字荒小屋・字中山道西、五日町字一本柳の一部

